

1. 日 時 令和3年9月12日（日）午前10時～12時
2. 場 所 住吉文化センター 講堂
3. 出席者 18名
4. 書 記 芝喜久子

5. 地域市民の集いの概要 【司会進行：谷本事務局長】

(1) 会長挨拶 志水会長

(2) 府中市自治会連合会役員と出席者自己紹介

自治会連合会：志水、谷本、椋田、山岡、川辺、林田、久保寺、筒井、芝（9名）

住吉文化センター圏域：才丸、宮田、高野、小川、山崎、上倉、高野、木越、小林（6団体：9名）

(3) 府中市自治会連合会／自治会についての説明（谷本）

自治会ハンドブック・エコサポート2021を使って自治連と自治会の活動を紹介。

(4) 四部会の活動状況

・総合的な活動

パンフレット「町会に入りましょう」の利用・自治連ニュースNo.26を町会の掲示板に貼って啓発等  
等のお願ひ、都のエコサポート2021の助成金を利用し電源確保等の進め。

エネポは6月18日付で再募集有り

・市民協働対策部（山岡）

自治会活動賠償責任保険（自治連・団体保険）未加入の町会へ進める。

・生活安全対策部（林田）

視察研修は10月21日に防災体験（そなエリア東京）と防災機器管理展見学（東京ビッグサイト）。

ラジオフチュースで防災町づくりの啓発、防災ズームセミナーを都の助成金で開催。

・環境対策部（川辺）

最近、高齢化が進み、空き家が増えている。市の空き家対策の会議に出席している。

9月29日視察研修、スマートエネルギー展（東京ビッグサイト）を見学。

・福祉対策部（久保寺）

府中市町づくり協議会に参加、社会福祉協議会の活動にも参加している。

(5) 懇談会

①防災用の発電機エネポ・蓄電器を実物で紹介し使い方の説明と実演（谷本）。

カセットは付けたままで良い、最後はガス抜きをする、月1回は点検した方が安心。

災害時の発電機・蓄電器の必要性を説明。

②防災機器の整備は長期計画で実施すると公的助成により自治会の負担が軽く済みます。

③分梅第一自治会では6年計画で助成金を利用し発電機・蓄電器等防災グッズを数多く揃えた。

④エネポは普段使いをしてみると使用方法を皆が覚える、平常時に活用し動かせる人を増やすと良い。

⑤災害時の要支援者への対応の問題。

⑥避難場所の正確な状況を伝えて欲しい、その手段について（防災無線等）。

⑦ハザードマップの活用、災害時にパニックを起こさない為にも町内会の事前の議論は必要。

※防災を中心に熱心に意見交換が行われた、事務局がこれらの内容から吸い上げた意見を

10月末の「自治会長と市長との懇談会」に持っていきたいと語り会を閉じた。

(6) 閉会 谷本事務局長

会 長		事務局長		総務部長	
-----	--	------	--	------	--